

ヨコハマ市民まち普請事業
第1次整備提案書



※ 記入上の注意

- ①2号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内にまとめてください。
- ②2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料はA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保して下さい。

整備提案名 (25字以内)	俣野公園の水路を、ホタルが生息できるように整備。
提案グループ名 (25字以内)	ホタルの里づくりの会
グループの現在の 主な活動内容及び 最近5年以内の活 動実績	俣野の地はホタルのメッカと言われるほど、ホタルが生息していた。俣野公園西斜面に環境保全を目的に日本ホタル研究所の看板のみを出していたが、数年前宅地造成で蛍の生息環境が破壊された。そんな時期、偶然ですが、地元の自治会でホタルの生息を検討してきたが、実現できなかった。理由は場所の設定が困難だったことに加え、工事資金が調達できなかったこと。しかし俣野公園の事業計画で水路が作られることがわかり、ホタルの生息事業化が浮上した。「ドリームランド跡地整備事業連絡会」で地下水の汲み上げ水量を確認するなど、ホタルの生息事業について検討を重ねてきた。
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	横浜市戸塚区俣野町 1367 番地 1 横浜市営俣野公園
整備提案の内容 (どのような整備を 提案するのか文章で 記入してください)	墓園と芝生公園の境界に水路を設け、地下水を汲み上げて流している。この水路をホタルが生息できるように整備したい。整備の一例として、水の流れを速くする工事（高低さをつくる）、えさになるカワニナが生息できるように砂礫を敷いた川床づくり、また、ホタルの幼虫が水中から陸上に上りやすいように、斜面の土手を作る工事などを行う。また、水路から2m内に灌木を植樹し、人が立ち入れないようにする。それが結果的にホタルの命を守ることにつながる。 整備費用の概算：約 500 万円 ※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）
整備提案の動機や 背景 (整備に対する地域の ニーズや整備によって 解決したい地域の課題、 整備の必要性などに 触れながら箇条書きで 記入してください)	1. 俣野公園が完成。公園の事業計画、設計段階から地域住民の間で検討されてきた「ホタルの生息事業」は、地下水がくみ上げられ、放流が始まった時点から、一気に機運が高まった。 と言うのも地元の自治会では、ホタルの生息事業を考え、検討されてきたが、実現できなかったことがその思いに拍車をかけた。ハイツに住むホタル愛好家は飼育しているホタルをハイツ構内で放したりして、多くの子どもたち、大人に観賞させ、感激を与えていた。 2. この水路を整備すれば、水質がよく、水量も十分なのでホタルを生息させることが出来る。近くにはホタル研究所という看板があったほどホタルが群舞していた。ホタル生息地のメッカ的存在だった。しかし周辺の宅地造成でホタルが全滅したことを考えると、この整備事業にはこの地域の環境と、生態系の継承と創造という大きな意味がこめられていると言える。ホタルの生息事業は大きな価値がある。

<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<p>まち普請事業で水路が整備され、ホタルが生息すると、地域の多くの人々が来園する。また、駐車場もあるので、ホタルの生息が定着し、その存在が認識されるようになる。地域の住民に留まらず、戸塚区内はもちろん、隣接する泉区、藤沢市からも観賞に訪れる人々で公園は溢れるに違いない。戸塚区の自慢できる観光スポットに十分なりうる。また、まち普請事業に係わった小学生とホタルの里づくりのグループは子どもたちの登下校、学外活動時の安全確保のパトロール実施等で、すでに交流はあるが、さらにホタル生息事業の協働活動を通じて一段と交流が深まっていくことが期待される。加えて、場所が平坦な公園内にあることで、安全と安心が確保されるうえ、水路周辺の整備によって、体の不自由な方々の観賞も可能になり、世代間、健常者、身体障害者を越えた人的交流が始まり、相互扶助の心が養われてくるに違いない。ゆくゆくはホタル祭り、ホタル鑑賞会などのイベント開催で、この地域は活気にあふれた「まち」になっていくことが予見できる。地域力を高めていくなど、様々な効果が期待される。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p>	<p>・提案グループは施設全体を見回り、各団体、個人への役割分担を決めて、維持管理・運営を進めていきたい。整備が終了し、ホタルを放流したからと言って、すぐにホタル生息の自然循環が始まるとは考えられない。自然定着には数年を要するとみるのが常識。その間、グループは水路、川床の手入れ、ホタルの幼虫の入手を担当する。小学生児童はカワニナの生育、増殖を担当し、ホタルの自然生息に協働作業を行う。今後放流を計画しているメダカなどの生態系を観察・記録をおこなってもら。提案グループは小学生の情報提供に基づき、生物の自然増殖が行われるように、絶えずホタルの里の管理・整備を進めていく。</p>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源 注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<p>・この提案はまさに、「身近な生物の環境創造」であります。この公園に、「存在しなかった生物が存在するようになる」この計画は、生命の大切さを大人や子どもたちに気づかせるものになっている。 ・PTA、小学校の児童、学援隊、自治会、老人会、各種団体 ・完成後の維持管理費として各種団体からの寄付、バザーの収入を充当。また、ホタル観賞時の寸志も充当する。 ・墓園を含む伊野公園の事業計画には墓園があることに難色を示していた方々に対して、「ホタル生息」は大きな安らぎを与えることになるのではない。ホタル鑑賞会等のイベントをつうじて、地元住民の一体化が実現できる。 ・平坦な公園ということで安全と安心が確保されおり、しかもアクセスしやすい場所なので、多くの人々が来園しやすくなる。戸塚区はもちろん、横浜の自慢できる観光スポットにもなることが期待される。</p>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

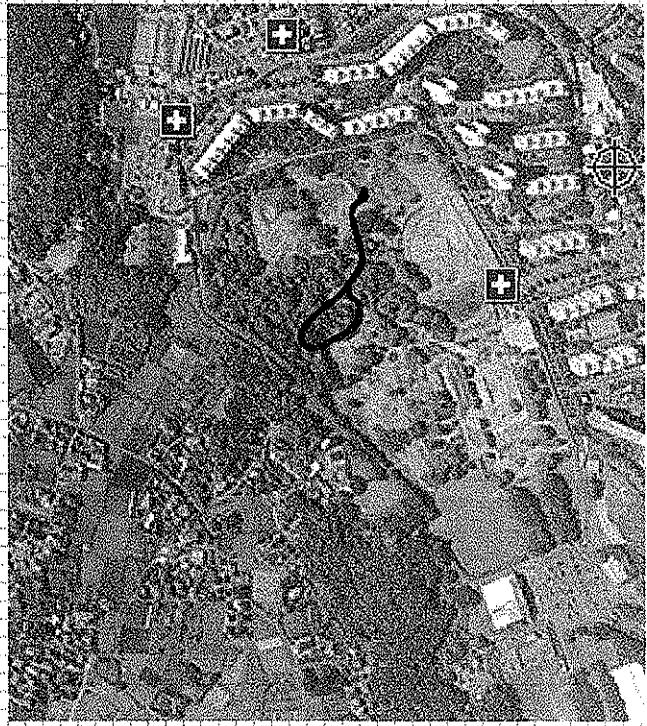
整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
横浜市環境創造局緑事業課 横浜市環境創造局南部公園緑地事務所 } 横浜市緑の協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタルの生息で公園利用者が増えることは喜ばしいこと。 ・現在行われている公園整備につづいて、さらに地域が水路の整備に入ることに問題はないのかと言う意見が出された。 ・指定管理者の維持管理とホタル生息の維持管理とのかかわりの検討が必要になる。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、または実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

俣野公園位置図



四

俣野公園水路(一部分)現況写真



俣野公園施設配置図

・ 滝木を植樹、斜面の上を
つくる工事

・ 水源(高とする)

・ 整備範囲に砂礫をしいて
川床づくりの工事
・ 整備範囲内に飛び石を配置する事

